

令和2年度

シラバス

3年生(第17期生)



徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校

看護科

令和2年度 (国語) 科 シラバス

教科	国語	科目	現代文A		単位数	2単位	学年	看護科 3 年
教科書	現代文A(東京書籍)			副教材	現代文A 学習課題ノート(東京書籍)			
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・提出物(宿題, 作品等) ・週課題							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	さくらさくらさくら	2	文章全体の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。
	4	みどりのゆび	6	時間的経緯を確認して、物語の進行を理解している。
	4 5	「身銭」を切るコミュニケーション	4	「身銭」を切るコミュニケーションとはどのようなものか理解し、コミュニケーションについて考えを深める。
	5	真面目な二人	4	会話や行動から登場人物の心理を読み取っている。
	5	ミロのヴィーナス	5	抽象的語句や逆説的、比喩的表現の具体的な内容を理解している。
	6	ナイン	4	「わたし」の行動を通して作者が伝えようとしたことを読み取っている。
	7	少女たちの「ひろしま」	3	写真集『ひろしま』を通して筆者が伝えようとした戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、自分と関係づけて捉えている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	8		0	
	9	詩歌 I was born, 永訣の朝, 信濃路(短歌), 春雷(俳句)	4	用いられている特徴的な比喩表現を理解し、イメージを感じ取り、レトリックがリズム感を生み出すことと、詩にこめられたメッセージを理解し、味わっている。
	9 10	分からないからおもしろい	4	筆者の仕事に対する姿勢がどのようなものかを理解している。
	10	山椒魚	5	両者が和解に至る心情の変化について理解できている。
	10	豊かさと生物多様性	4	筆者の論の展開を読み取り、生物多様性の重要性と課題について理解を深めている。
	11	言葉は世界を切り分ける	4	具体例を参考にして、筆者の問題提起について理解を深めている。
	11 12	山月記	6	李徴の生き方について主体的に話し合っている。
	12	思考の肺活量	4	「思考の肺活量」という比喩表現の意味を理解し、思考のあるべき姿について理解を深めている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2	こころ	7	「私」の保身, エゴイズムを捉えるとともに, Kの自殺の理由について話し合っている。
	2	蠅	4	蠅の目を通して描き出された人間の生のはかなさやむなしさを読み取り, 人間の生について考えを深めている。
	3		0	

令和2年度 地理歴史科 シラバス

教科	地歴公民科	科目	世界史A	単位数	2単位	学年	看護科 3 年
教科書	世界史A新訂版(実教出版)		副教材				
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・提出物(ノート,宿題) ・週課題						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	第1部 序章 文明のはじまり	7	・人間の世界が形づくられていく過程を理解する。
				・世界史学習に対し,意欲的に取り組もうとしている。
		第1章 ユーラシアの諸文明の特質		
		第1節 西アジア世界・イスラーム世界		・イスラーム世界の特質について考察し,その歴史的意義を判断している。
				・ユダヤ教やキリスト教などについて把握し,基本的知識を身につけている。
	5	第2節 ヨーロッパ世界	7	・ヨーロッパ世界の特質について考察し,その歴史的意義を判断している。
				・ヨーロッパの風土と諸民族,ギリシアやローマ文明の伝統的キリスト教に関する資料を活用するとともに,ヨーロッパの特質について追求し考察した過程や結果を適切に表現している。
	6	第3節 南アジア世界・東南アジア世界	8	・南アジアにおける多様な社会や文化の形成について把握し,基本的知識を身につけている。
				・インドと中国の文化の影響を強く受けながら,独自の文化を生み出した東南アジアの特質について意欲的に追求しようとしている。
		第4節 東アジア世界・内陸アジア世界		・東アジア世界の歴史の展開によって培われた社会や文化の特質について追求し,考察した過程や結果を適切に表現している。
				・東アジアの国際関係にみられた冊封体制について把握し,その知識を身につけている。
	7	第2章 ユーラシアの交流	5	・8世紀以降の諸地域世界の交流に関心を高め,意欲的に追求しようとしている。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	第2部 結びつく世界と日本	8	・ルネサンス,宗教改革や新航路開拓と主権国家体の成立,大西洋貿易の歴史的意義を判断している。
		第3章 一体化に向かう世界		
		第1節 世界の一体化の第一歩		・重商主義に基づく経済活動と植民地争奪の展開を理解し,その知識を身につけている。
		第2節 ルネサンスと宗教改革		・ヨーロッパとアメリカにおける資本主義の確立と国民形成について考察し,その歴史的意義を判断している。
		第3節 ヨーロッパの主権国家体制		
	10	第4章 アジアの繁栄と世界		・16世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向に対する関心を高め,意欲的に追求するとともに,それぞれの社会や文化の特質について考えようとしている。
		第1節 アジアの繁栄		
		第2節 世界経済体制の形成		

2 学 期				
	11 12	第5章 19世紀の世界の一体化と日本	13	
		第1節 産業革命と工業化社会の成立		・ヨーロッパとアメリカにおける資本主義の確立と国民形成について考察し、その歴史的意義を判断している。
		第2節 アメリカの独立戦争		・資本家と労働者の成長、自由主義と社会主義思想の誕生について理解し、その知識を身に付けている。
		第3節 フランス革命とナポレオン戦争		・19世紀の転換点となる1948年を節目に、自由主義と国民主義が進展した19世紀後半の欧米社会について意欲的に追求しようとしている。
		第4節 ウィーン体制とその崩壊		・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容などに関する資料を活用するとともに、19世紀の世界の一体化について追求し考察した過程や結果を適切に表現している。
		第5節 ヨーロッパ国民国家の発展		・ヨーロッパ文明の導入と近代化に関して、日本とアジア諸国の歴史を比較して考察し、その歴史的意義を判断している。
		第6節 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動		
		第7節 東アジアの変容と日本の近代化		

学 期	月	学習内容(単元名)	配 当 時 間	評価規準
3 学 期	1	第6章 二つの世界大戦	6	
		第1節 激変する社会と帝国主義		・20世紀という時代の特質に対する関心を高め、人類史的視野から意欲的に追求しようとしている。
		第2節 第一次世界大戦		・第一次世界大戦の原因と性格、それらが及ぼした影響に関する資料を活用するとともに、追求し考察した過程を適切に表現している。
		第3節 戦間期のヨーロッパとアメリカ		・社会変革へのアジアの主体的な動きについて意欲的に追求しようとしている。
		第4節 民族運動の高まり		
		第5節 第二次世界大戦		
	2	第7章 第二次世界大戦後の世界と日本	7	・20世紀前半の国際政治の流れ、現代の戦争の特質と平和の意義などについて意欲的に追求しようとしている。
		第1節 冷たい戦争		・全体主義の台頭の背景について理解し、その知識を身に付けている。
		第2節 アジア・アフリカ諸国の独立と混乱		・1970年頃までの世界の政治や経済の動向について考察し、第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジアやアフリカの民族運動と植民地支配からの独立について公正に判断している。
		第3節 多極化の進展と冷戦体制の崩壊		
	3	第8章 現代の世界	2	・戦後世界の在り方が大きく変容したことと、これからの国際社会における日本の役割について意欲的に追求するとともに、国際社会を主体的に生きる国家および社会の一員としての責任を果たそうとしている。
		終章 持続可能な世界を目指して		

令和2年度 (数学) 科 シラバス

教科 科	数学科	科 目	数学A		単 位 数	3単位	学 年	看護科 3 年
教科書	新編 数学A(数研出版)			副 教材	Study-Up ノート 数学A(数研)			
評価 方法	・定期考査 ・課題テスト ・提出物							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4月	場合の数	28	樹形図, 和の法則, 積の法則を理解し, 使うことができる
	5月			順列, 円順列, 重複順列の計算ができる
	6月			組合せの公式を使うことができる
				同じものを含む順列の総数を求めることができる
	7月			重複組合せを計算できる
2 学期	9月	確率	28	定義による確率を求めることができる
				和事象, 余事象の確率を求めることができる
				集合を活用した複雑な事象の確率を求めることができる
				独立な試行の確率を求めることができる
				反復試行の確率を求めることができる
		条件付き確率と確率の乗法定理を理解し, 計算できる		
	10月			
3 学期	11月	平面図形	28	平行線と比の関係を理解している
				定理を利用して線分の比や長さを求めることができる
				三角形の外心, 内心, 重心を理解している
				チェバの定理, メネラウスの定理を使うことができる
				円周角の定理を理解し使うことができる
				円に内接する四角形の性質を理解している
				円の接線の性質と接弦定理を理解し, 使うことができる
				方べきの定理を使うことができる
	12月			内分点・外分点の作図, b/a や ab の長さをもつ線分の作図ができる
				$\sqrt{a}$ の長さをもつ線分の作図ができる
	2月	空間図形	5	空間における2直線の位置関係を理解している
				空間における直線や平面が平行または垂直となる条件を理解している
		約数と倍数	5	3の倍数, 9の倍数の判定ができる
				素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求めることができる
		ユークリッドの互除法	5	互いに素な整数を理解している
				互除法による, 最大公約数を求めることができる
		整数の性質の活用	6	1次不定方程式を解くことができる
	3月			位取り記数法, 10進法, 2進法, n 進法について理解している
				n 進法の整数を10進法で, 10進法の整数を n 進法で表すことができる

令和2年度 理科 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎		単位数	3単位	学年	看護科 3 年
教科書	高等学校 改訂 新化学基礎(第一学習社)			副教材	改訂 ネオパルノート 化学基礎(第一学習社)			
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(宿題, 実験レポート) ・探究活動への取り組み(意欲, 技能, 考察力)							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	序章 化学と人間生活	3	金属やプラスチックが, 様々な化学の研究成果に基づいて製造されていることを知り, 化学に対する興味・関心を高め, 意欲的に取り組もうとする。
	4 5	1編 物質の成り立ち 1章 物質の探究 1 物質の性質と分離 2 物質の成分	12	物質に関心をもち, 物質の取り扱い方を理解しようとする。物質の構造や性質に関する基本的な概念を理解し, 知識を身に付けている。 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち, 成分元素の確認方法などの知識を身に付けている。
	5	2章 物質の構成粒子 1 原子の構造 2 電子配置と周期表	10	原子は原子核と電子からなり, 陽子, 中性子, 電子の関係を理解する。 電子の状態が物質の状態に大きく寄与することを推論する。周期表から物質の性質を分析することができる。
	6 7	3章 物質と化学結合 1 イオンとイオン結合	8	イオンの生成の仕組みについて関心をもち, 理解する。原子は原子核と電子からなり, 電子の状態が物質の状態に大きく寄与することを推論する。 イオン結合の仕組みについて関心をもち, イオン結合の形成等についてその仕組みを理解・習得し, イオン化エネルギーやイオン結晶等の概念について基本的な知識を身に付けている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10	2 金属と金属結合 3 分子と共有結合	18	自由電子と金属結合, 金属の性質の関係について基本的な知識を身に付けている。 分子の生成と共有結合の仕組みについて関心をもち, 共有電子対等の考え方を理解している。 共有電子対, 電気陰性度等の考え方を理解・習得し, 分子の構造, 構造式, 結合の極性等について基本的な知識を身に付けている。 結晶の性質について関心を持ち, 化学結合と結晶の性質との関連について基本的な知識を身に付けている。
	10 11 12	2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 1 原子量・分子量と物質質量	22	原子・分子の質量について関心を持ち, 12Cを基準とする相対質量の考え方および同位体の存在比から原子量を求める方法を理解・修得している。 原子量, 分子量, 式量およびアボガドロ数と物質質量との関係について正確に理解・習得し, モル質量等について正しく表現できる基本的な知識を身に付けている。 物質質量と気体の体積の関係について理解している。 溶液の濃度等について関心を持ち, 基本的な知識を身に付けている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	2 化学変化の量的関係	9	化学反応式の書き方について理解・習得し、その係数と物質質量、気体の体積等の関係について基本的な知識を身につけている。 化学反応に関する基本的な法則を理解し、知識を身に付けている。
	1 2	2章 酸と塩基 1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 3 中和反応と塩の生成 4 中和反応の量的関係と中和滴定	18	酸と塩基の異なる定義や性質について関心を持ち、理解する。 水素イオン濃度とpHの関係を基に、pHの具体的な求め方、身近な物質のpH値さらには酸性・塩基性の基準についても考察できる。 中和反応について関心を持ち、反応の定義や生成する塩の性質等について理解する。 中和反応の量的関係について理解・習得し、中和滴定の実験を通じて具体的な器具や指示薬、滴定曲線についての基本的な知識を身につけている。
	3	3章 酸化と還元 1 酸化と還元 2 酸化還元反応の利用	5	酸化還元反応について関心を持ち、電子の授受や酸化数という観点で具体的な酸化剤や還元剤のはたらきについて理解する。 金属のイオン化傾向や電池について理解し、具体的な金属の反応性や電池の構造について基本的な知識を身につけている。

令和2年度 （保健体育）科 シラバス

教科	保健体育	科目	体育		単位数	2単位	学年	看護科 3年
教科書	現代高等保健体育改訂版(大修館)			副教材				
評価方法	・出席状況 ・意欲, 態度 ・実技テスト ・ワークシート ・個人評価							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	体づくり運動	4	主体的・積極的に取り組むことができる。 自身のねらいに応じて、体力を高める運動が選択できている。
		体育理論	2	各ライフステージにおいて、ふさわしい種目や行い方を話し合うことができている。 グループに分かれて、スポーツに関わる職業について話し合うことができている。
	5,6	集団行動	10	集団として必要な行動の仕方を身に付けている。
		球技(バレーボール)		自己の目標を立てて取り組むことができる。
	6,7	球技(バレーボール)	5	主体的・積極的に取り組むことができる。 サーブの打ち方を理解し、ゲームで使うことができる。
				ボールをつなげることを意識し、ゲームができている。 怪我の予防やルールが守られている。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	体づくり運動	4	主体的・積極的に取り組むことができる。 自身のねらいに応じて、体力を高める運動が選択できている。
		ダンス	4	主体的に取り組むことができる。 音楽に合わせて仲間と対応して踊ることができる。
	10,11	球技(バドミントン)	10	主体的・積極的に取り組むことができるか。 コミュニケーションを取りながらゲームを展開することができる。
				協調性を持ち積極的に役割を果たしている。
	11,12	球技(バスケットボール)	10	協調性を持ち、積極的に取り組むことができる。
				ルールを理解し、審判などの運営ができている。
				いろいろなパスの種類があることを理解できている。
				ドリブルシュートの方法を理解できている。
				ルールを守ることができる。
	12	体育理論	2	いろいろなタイプから、自分に適したタイプを選択することができる。 マイスポーツライフを具体的に設計することができる。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	体づくり運動	2	主体的・積極的に取り組むことができる。
				自身のねらいに応じて、体力を高める運動が選択できている。
		陸上競技(持久走)	4	自己の目標を立てて取り組むことができる。
				自己の体力に応じて、積極的に取り組むことができる。
	1,2	球技(バドミントン・バレーボール・バスケットボール・卓球)	11	学習した知識や技能を活用しながら、ゲームができている。
				ゲームの展開を工夫できている。
	2	体育理論	2	健康・安全に留意し、各運動種目のルールが守られている。
				様々なスポーツ振興のための施策を理解し利用することができる。
				グループに分かれて、スポーツが与える環境問題について話し合うことができ

令和2年度 （外国語）科 シラバス

教科	外国語科	科目	コミュニケーション英語Ⅱ		単位数	3単位	学年	看護科 3 年
教科書	MY WAY English CommunicationⅡ(三省堂)			副教材	VITAL3000 英単語・熟語 (文英堂)			
評価方法	・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・提出物(宿題, プリント等) ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・暗唱テスト							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	Lesson6 A Space Elevator ・宇宙エレベーターの構造について学び, その実現可能性について考える ・現在完了形 現在完了進行形 過去完了進行形 未来完了進行形	21	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり, 読んだりして理解できているか
	5 6 7	Lesson7 An Encouraging Song ・ZARDの「負けないで」について知り, その歌に込められた思いについて知る。 ・助動詞 助動詞+have +過去分詞 would を使った表現 完了不定詞	21	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり, 読んだりして理解できているか
2 学期	9 10	Lesson8 Language Contacts ・複数の言語が出会うとき互いに及ぼす影響について考える。 ・仮定法過去 仮定法過去完了	18	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり, 読んだりして理解できているか 異なる文化について理解しようとしているか 辞書で調べたり, 学んだ表現を使って英文を簡潔に書くことができるか
	10 11 12	Lesson9 Charles Chaplin ・チャップリンの半生を学び, 喜劇王になるまでの葛藤について知る。 分詞構文 付帯状況with	20	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり, 読んだりして理解できているか 異なる文化について理解しようとしているか 辞書で調べたり, 学んだ表現を使って英文を簡潔に書くことができるか
3 学期	1 2	Lesson10 The Five-story Pagoda of Horyuji ・同格that 倒置 省略 強調構文	25	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり, 読んだりして理解できているか

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科 科	看護科	科 目	基礎看護		単 位 数	2単位	学 年	看護科 3 年
教科書	高等学校用 基礎看護（文部科学省）		副 教材	系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②（医学書院） 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③（医学書院）				
評価 方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み（関心・意欲・態度） ・実技、モデル人形での実習（技能、表現） ・ワークシート ・グループワーク ・小テスト ・発表 ・演習							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	看護活動の展開 看護過程	4	情報の意味を考え、関連図を書くことができる。
	5	与薬の技術 輸血管理	6	輸血療法に関心を持ち、事故防止のためにも知識を習得しようとしている。 輸血の目的や種類について理解できている。 輸血の副作用とその対処について理解できている。 輸血療法の手順と留意点、および根拠について理解できる。 事故を防ぐために必要なことは何か考えることができる。
	6 7	呼吸・循環を整える技術 酸素吸入療法 吸入 吸引 排痰ケア	14	目的や適応、副作用など、酸素吸入療法の概要が理解できている。 酸素投与方法の種類およびその特徴を理解できる。 病院実習などの経験と結びつけ、考えることができる。 酸素ポンペを正しく取り扱える。 生体情報モニタリングの概要を理解している。 呼吸器の解剖生理、吸引の目的、種類とその特徴などが理解できる。 吸引の具体的方法を、根拠を含めて理解できている。 口腔・鼻腔内吸引を、モデル人形に実施することができる。 持続的吸引の概要が理解できる。 排痰ケアに関心を持ち、その目的、方法等が理解できる。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10	診察と看護 創傷管理の基礎知識 創傷処置 褥瘡の予防と手当	14	創傷の治癒に必要な基礎知識を理解している。 デモンストレーション: ドレッシング材の貼り方、剥がし方 包帯の目的と種類を理解している。 巻軸帯、三角巾を用いた包帯法を行うことができる。 実習: 巻軸帯の巻き方、三角巾の使用法 褥瘡のアセスメントに必要な知識について理解できている。 褥瘡処置や予防の方法について理解できている。 褥瘡予防の方法を実践できる。 実習での経験と照らし合わせて、考えることができる。
	10	検査・処置の介助 生体モニタリング 生体検査	5	生体モニタリングの概要を理解している。 生体検査の種類やその目的を理解している。 生体検査に関心を持ち、自ら調べて知識を深めようとしている。 分からないところなど、グループで協力して調べることができる。 生体検査に関してグループでまとめ、発表することができる。

	11 12	症状・生体機能管理技術 検体検査	12	検体検査の種類やその目的を理解できている。 血液検査に関心を持ち、その概要を理解できている。 静脈血採血の方法を、根拠を踏まえて理解できている。 静脈血採血を安全に実施することができる。
--	----------	-------------------------	----	--

学期	月	学習内容(单元名)	配当 時間	評価規準
3 学期	1	救命救急処置技術 心肺蘇生法	6	急変はいつでも起こりうることを念頭に置き、取り組むことができる。 初期対応および心肺蘇生法の手技およびその根拠が理解できる。 傷病者発見から一次救命処置までの一連の流れを身につけている。 二次救命処置に使用する物品の使用目的やその方法を理解している。 院内急変時の対応を考えることができる。
	2	日常生活の看護 安全と医療事故	4	どのような医療事故が発生しているか、また原因にはどのようなものがあるかについて理解しているか。 業務上の過失を防ぐための要件としての「予見義務」と「回避義務」の意味が理解でき、看護業務における危険と結びつけられるか。 インシデント報告の意義が理解でき、インシデント報告の活用、及びインシデント報告を徹底できる条件(環境)作りについて理解しているか。
	2 3	死の看取りの援助 死の看取り 死後の処置	5	死とは何か、人として看護職として、死と真剣に向き合っている。 死にゆく人の心理過程についての知識を習得している。 一般的な死後の処置について理解できている。 看護職として、臨終に際してどうあるべきかを考察している。

令和2年度（看護）科 シラバス

教科	看護科	科目	生活と看護		単位数	1単位	学年	看護科 3 年
教科書	高等学校用 生活と看護（文部科学省）			副教材				
評価方法	・授業への取り組み ・ワークシート ・ノート ・提出物 ・定期考査 ・出席							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	《精神保健》	5	
		第1章 心の働きと発達		心とは何か、興味関心を持って取り組んでいる。
				脳の諸機能が理解できる。
				心の働きと脳の関係を関連付けることができる。
				自我の防衛機制の種類と特徴が理解できる。
				エリクソンの発達段階について説明できる。
				フロイトの発達理論の特徴が理解できる。
	5	第2章 心の健康	5	心が健康であるということはどういうことか、考えようとしている。
				欲求と適応機制について理解できている。
				心の危機状態について理解できる。
				危機状態への援助が分かる。
				心身症について理解する。
				セルフコントロールについて知り、自分自身を振り返ることができる。
	7 10	第3章 ストレスとその対処	5	ストレスとは何か、その原因は何か理解できる。
				ストレッサーが身体に与える影響について理解できる。
				ストレスコーピングという言葉の概念が分かる。
				ストレスの徴候が分かる。
				さまざまなストレスへの対処方法を知り、実践することができる。
				認知のゆがみを生じさせる現象が分かる。
		正しく自己主張ができる。		
		自分自身の生活を振り返り、学びを取り入れようとしている。		

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	10	第4章 精神保健医療福祉活動	4	精神保健の狭義、広義の目的および対象が理解できる。
				精神保健福祉制度およびその変遷に関心を持っている。
				各国における精神保健活動を知る。
	11			日本と諸外国との精神保健活動の相違点に目を向ける等ができる。
				精神保健福祉活動の場と従事者に関心を持ち、調べることができる。
				精神保健福祉に関連する法規が分かる。
				地域での精神保健活動に興味関心を持っている。
				精神科病院における活動について理解できる。

期	12	《社会保障制度と福祉》	6	
		第1章 社会保障と社会福祉		社会保障とは何か、どのようなものがあるのか関心を持ち取り組んでいる。
				社会保険の概要が分かる。
				年金保険のしくみと各種年金の特徴が理解できる。
				医療保険制度の概要が理解できる。
				医療保険制度の基本原理と保険診療、診療報酬について理解できる。
				国民医療費に関心を持ち、理解しようとしている。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	第2章 保健医療福祉制度	5	介護保険制度の概要が理解できる。
				現状と照らし合わせて、介護保険の重要性を考えることができる。
				雇用保険・労働者災害補償保険について理解できる。
				社会福祉の変遷が分かる。
				現在の社会福祉制度について理解できる。
				地域保健の概要が分かる。
				保健医療福祉に携わる資格や業務を理解できる。
				医療・保健・福祉の連携の重要性が分かる。
	2 3	第3章 保健医療福祉関係法規	5	地域保険法・母体保護法・母子保健法・学校保健安全法が理解できる。
				既習の知識と関連づけることができる。
				予防衛生、福祉、医事および薬事等に関する法律、法規が分かる。
				どのような法律があるのか関心を持ち、取り組んでいる。

令和2年度年度（看護）科 シラバス

教科 科	看護	科 目	成人看護		単 位 数	1単位	学 年	看護科 3 年
教科 書	成人看護(教育出版株式会社)			副 教 材	系統看護学講座 運動器, 循環器(医学書院)			
評価 方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・提出物(宿題, ノート) ・週課題 ・探究活動への取り組み(意欲, 考察力)							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	運動機能障害と看護 骨折患者の看護(ギプス固定)	5	ギプス固定の目的・方法・看護上の留意点を理解しているか
				運動制限のある患者の気持ちに関心を持つことができるか
	5 6 7	運動機能障害と看護 大腿骨頸部骨折患者の看護	10	高齢社会における大腿骨頸部骨折の動向について理解しているか
				人工骨頭置換術を受ける患者の看護について理解しているか
				人工骨頭置換術を受ける患者の看護について科学的根拠をもとに述べることができるか

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	循環器疾患患者の看護 循環器の解剖生理	3	循環器の構造と機能について理解している。
	10 11 12	循環機能障害と看護 心筋梗塞患者の看護 心不全患者の看護	10	心筋梗塞患者の看護について理解しているか
				心筋梗塞患者の看護について科学的根拠をもとに述べることができるか
				死に対する恐怖を持つ患者や家族の気持ちについて関心を持っているか

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2	主な検査を受ける患者の看護 看護過程	6	主な検査に対する看護のあり方について理解しているか
				循環器疾患患者の看護過程について文献をもとに理解しようとしているか
	3	特別時間割 弱点補強と強化	1	自らの弱点について理解し、表現できる。

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護科	科目	老年看護	単位数	1単位	学年	看護科 3 年
教科書	高等学校用 老年看護（文部科学省）		副教材	系統看護学講座 専門Ⅰ 老年看護学（医学書院）			
評価方法	・授業への取り組み ・小テスト ・ワークシート ・定期考査 ・グループワーク						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5 6	老いるということ	9	老年看護の特徴を理解している。
		老いを学ぶ入り口		老いるということを自分がどうとらえているか振り返ることができる。
		身体的側面の変化		老年期における看護職の役割とは何かを考察している。
		身体的側面の変化		加齢に伴う身体的・心理的变化が理解している。
		心理的側面の変化		看護職として、老いを生きることを理解し、授業に取り組んでいる。
		老いを生きるということ		
		老年期の発達課題		様々な喪失体験の中、老年期の発達課題について理解している。
		1学期中間考査		
	7	超高齢社会の統計的輪郭	4	
		わが国の高齢化／高齢者のいる世帯		高齢者に関する諸統計とその推移を理解できる。
		高齢者の健康状態／高齢者の死亡		高齢者をとりまく社会の変化と現在の課題を知ることができる。
		高齢者の暮らし		

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10 11 12	認知機能障害のある高齢者の看護	14	認知機能の障害が日常生活におよぼす影響について理解している。
		認知症の基本構造		認知症の基本構造について理解している。
		認知症の病態・診断・治療・予防		認知症の診断・治療と予防について理解している。
		認知症および生活機能の評価		認知症の重症度について評価方法について留意点が分かっている。
		2学期中間考査		
		認知症患者の看護の実際		認知症患者の看護のコミュニケーションについて、理解している。
		日常生活ケア		認知症患者の看護の環境づくり、日常生活のケアについて、留意点を理解している。
		行動・心理症状(BPSD)への対応		認知症患者の看護の行動心理症状への対応について、留意点を理解している。
		2学期末考査		

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2	高齢者の権利擁護	8	
		高齢者に対するスティグマと差別		エイジズムに基づく高齢者差別について、考えを述べることができる。
		高齢者虐待		高齢者の受ける虐待の実態について理解できる。
		身体拘束		臨床で行われることがある身体拘束について、例外3原則と関連づけ自分なりの考えを述べることができる。
		権利擁護のための制度		ノーマライゼーションと自己決定の尊重の理念を理解している。
		成年後見制度		高齢者の権利擁護のための制度である成年後見制度の概要を理解している。
		日常生活自立支援事業		DVDを視聴し、制度がどのように活用されているかを理解している。
		※認知症サポーター養成講座		
		学年末考査		

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	母性看護	単位数	1単位	学年	看護科3年
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ	母性看護学1 母性看護学2	母性看護学概論(医学書院) 母性看護学各論(医学書院)	副教材			
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(ノート・プリント・問題集)						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	母性看護の意義	1	母性について考えを深めているか。
				母性看護の意義を理解できているか。
	5	人間の性と生殖	2	女性の生殖に関する権利を理解できているか。
		女性のライフステージ各期の特徴と看護	2	女性のライフステージ各期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、看護問題について考えを深めているか。
		妊娠期における看護		妊娠の成立が理解できているか。
			4	分娩予定日の算出、妊娠週数や区分が理解できているか。
	6 7	妊娠期における看護		妊娠初期の母体の生理的変化が理解できているか。
		妊婦と胎児の健康状態のアセスメント		妊娠初期の基本的な保健指導が理解できているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	妊娠期における看護	8	
		妊婦と胎児の健康状態のアセスメント		妊娠中期の母体の生理的変化が理解できているか。
				妊娠中期の基本的な保健指導が理解できているか。
	10			妊娠後期の母体の生理的変化が理解できているか。
				妊娠後期の基本的な保健指導が理解できているか。
	11 12	分娩期における看護	6	流産・早産・正期産・過期産の意味が理解できているか。
				分娩の3要素が理解できているか。
				分娩の経過が理解できているか。
				分娩Ⅰ期の経過と看護について基礎的な内容が理解できているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	分娩期における看護	6	分娩Ⅱ期～Ⅳ期の経過と看護について基礎的な内容が理解できているか。
	2	産褥期の看護	4	産褥期の意味や経過が理解できているか。
				子宮復古・悪露・乳汁分泌・心理的变化について理解できているか。
	3	新生児期における看護	2	アプガースコア、生理的黄疸、原始反射について理解できているか。

令和2年度（看護）科 シラバス

教科	看護科	科目	小児看護	単位数	1単位	学年	看護科 3 年
教科書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 （医学書院）			副教材			
評価方法	・授業への取り組み ・小テスト ・ワークシート ・定期考査 ・グループワーク						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	小児看護の特徴と理念	4	
		小児看護の特徴		小児看護の特徴を理解している。
				小児看護における看護職の役割とは何かを考察している。
		小児と家族の諸統計		小児に関する諸統計とその推移を理解できる。
		児童福祉		小児をとりまく社会の変化と現在の課題を知ることができる。
	5	小児の成長・発達	5	現在の小児に関する課題に対し、看護職としてできることを考えている。
				小児にとっての成長・発達の意義が理解できている。
				成長・発達には何が影響するのか、その理由も含め把握できている。
				評価の方法を理解し、なぜ評価が必要なのかを考えることができている。
				看護職として、成長・発達をなぜ学ぶのかを理解し、授業に取り組んでいる。
	6			
	7			

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	小児各期の形態的特徴	1	新生児から学童期までの形態的特徴を理解できている。
	10	新生児の特徴	4	
		身体生理		小児の呼吸・循環・体温の特徴および正常について理解できる。
		呼吸・循環・体温・消化器・体液生理・黄疸・血液・免疫・神経系 など		諸器官の発達とバイタルサインを関連させることができる。
				胎児循環が理解できる。
				とくに新生児の血液の特徴が理解できている。
				新生児黄疸の機序を説明することができる。
	11	日常生活の世話	2	免疫グロブリンの特徴や原始反射が理解できている。
		①排泄の世話		新生児の生活に関心を持っている。
		②衣服の世話		新生児の排泄の特徴と世話の留意点ができる。
		③睡眠の世話		新生児の衣服の特徴が分かる。
		④清潔の世話		新生児にとっての睡眠の意義、特徴を理解している。
				沐浴時の留意点ができる。
		⑤事故防止		新生児の免疫機能と関連づけることができている。

2 学期	12		乳幼児死亡と関連づけることができる。
			事故の防止策が分かる。
		小児各期の特徴(乳児～思春期)	5
		身体生理	

学期	月	学習内容(单元名)	配当 時間	評価規準
3 学期	1	小児各期の特徴(乳児～思春期)	8	
		感覚機能		五感の発達が分かる。
		運動機能		運動機能で、児全体の90%が達成する時期が分かる。
				デンバー発達判定法を活用できている。
		知的機能		ピアジェの認知発達理論の各段階が分かる。
		コミュニケーション機能		言語の理解と構音機能の発達が理解できている。
		情緒機能		ブリッジスの情緒の分化が理解できている。
		日常生活の世話		日常生活の世話について、新生児期の知識と照らし合わせて理解できる。
	2	母子保健	6	
		母子保健の変遷		母子保健の変遷に関心を持っている。
		母子保健法		母子保健の基盤となっている母子保健法に定められている項目が分かる。
		学校保健法		各感染症の出席停止期間が分かる。
		予防接種		予防接種の対象疾患およびワクチンの種類、接種の間隔が分かる。
				対象疾患の概要が分かる。
	3			

令和2年度（看護）科 シラバス

教科	看護	科目	看護臨地実習	単位数	8単位	学年	看護科 3 年
教科書	副教材						
評価方法	・出席状況 ・実習への取り組み(関心・意欲・態度) ・提出物(レポート, 実習記録) ・探究活動への取り組み(意欲, 技能, 考察力)						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	看護臨地実習オリエンテーション	2	関心、意欲をもって授業に取り組んでいるか
				提出物の期限が守れるか
				レポートは教科書以外の文献を活用しているか
				レポートのまとめ方に工夫はあるか
				学習内容に不足はないか
				日々の言葉遣いや態度は適切か
	6	基礎看護臨地実習	144	毎日の自己学習ができている
				経験・観察したことが明確に記録できている
				参考文献などを用い、実習内容を深められている
				専門用語が適切に用いられている
				記録類の提出期日が守られている
				実施したことが報告できている
				患者やスタッフと良好なコミュニケーションが行えている
	責任感や協調性がある			
7	成人看護臨地実習	礼儀正しくことばづかいも適切である		
		清潔感があり実習にふさわしい身だしなみである		
		指導を受けたときは、素直に自らを振り返り、改めている		
		健康管理ができ、出席状況が良好である		
		班員と協力している		
		実習病棟の主な疾患を理解している		
2 学期	9	成人看護臨地実習	68	毎日の自己学習ができている
				経験・観察したことが明確に記録できている
				参考文献などを用い、実習内容を深められている
				専門用語が適切に用いられている
				記録類の提出期日が守られている
				実施したことが報告できている
				患者やスタッフと良好なコミュニケーションが行えている
				責任感や協調性がある
				礼儀正しくことばづかいも適切である
				清潔感があり実習にふさわしい身だしなみである
				指導を受けたときは、素直に自らを振り返り、改めている
				健康管理ができ、出席状況が良好である
				班員と協力している
				受け持ち患者の看護過程が展開できる

		看護臨地実習事後指導	実習内容を素直に振り返り、反省点を表現できている
			今後の実習へつなげようとする態度がみられる

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	11	老年看護臨地実習	68	毎日の自己学習ができている
				経験・観察したことが明確に記録できている
				参考文献などを用い、実習内容を深められている
				専門用語が適切に用いられている
				記録類の提出期日が守られている
				実施したことが報告できている
				患者やスタッフと良好なコミュニケーションが行えている
				責任感や協調性がある
				礼儀正しくことばづかいも適切である
				清潔感があり実習にふさわしい身だしなみである
				指導を受けたときは、素直に自らを振り返り、改めている
				健康管理ができ、出席状況が良好である
				班員と協力している
				老年期の身体的・精神的・社会的特徴を理解している
				加齢変化および健康障害による問題を理解している
		老年看護臨地実習事後指導		実習内容を素直に振り返り、反省点を表現できている
				今後の実習へつなげようとする態度がみられる